

読書でひらく学びの扉 美里中図書室の取組と地域の温かな支えによる実践

学校名 美里町立美里中学校
所在地 児玉郡美里町駒衣1115-1
電話 0495-76-0379

1 本校の概要

本校は県北に位置する、学級数8(+特支2)、生徒数248名の中規模校である。緑と文化が調和する美里町にある本校は、町で一つの中学校であり、地域の公教育への関心も高く、学校開放日には多くの保護者や地域の方が訪れる。自然光が差し込む図書室は、ガラス張りの構造を生かした明るく開放的な空間で、生徒たちは思い思いの本を手に取り、読書を楽しんでいる。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ a 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・ d 家庭や地域との連携

(2) 実践の概要

ア 朝読書の実施

月曜、火曜、水曜、金曜の朝の会までの10分間を「朝読書」に設定し、準備した本を静かに読む。自分の心と向き合い、落ち着いて一日を始めることにつながっている。また、学期ごとにクラス単位で朝読書を図書室で行う取組を実施している。他者と本について語り、紹介し合う生徒もおり、図書室のさらなる活用につながった。

イ 図書委員会の活動

図書委員会の主な活動は図書の貸出と読書活動の推進である。図書室は月・火・水・金曜日の週4日開架している。本年度は生徒の登校にあわせて開架時間を朝8時15分から昼休みまでに延長した。

また、「2冊キャンペーン」と称して、全校生徒が年間2冊以上図書室の本を借りて、読書に親しむことができるよう呼びかけを行っている。2学期には生徒朝会を体育館で行い、図書室の利用方法や本の紹介を行い、図書室の利用者増加を図った。



【図書委員会による全校朝会の様子】

ウ 美里町図書館「森の図書館」との連携

生徒の読書意欲を高め、より多様な資料に触れる機会を提供することを目的として、町内の公共図書館との連携を進めている。委員会活動の時間を利用し、図書委員が代表して訪問し、貸出手続を行うとともに、各クラス10冊ずつ希望図書を選書・借用している。図書室スタッフからも、中学生の興味関心がかかる良い機会になっているとの声も寄せられた。

エ 図書室の環境・整備の充実

本校の図書室は、全面ガラス張りです太陽光が十分に入り、教室2クラス分の広さがある。図書の貸出はバーコードで、正確かつ効率的な管理が可能となり、生徒がスムーズに図書室を利用できるように環境を整えている。新着図書は入口近くに配架棚を設置し、生徒が図書室の外からも閲覧できるようにしている。本棚の上にはNDC表示を掲示し、分類に基づいて本を探しやすくしている。



【美里中図書室の様子】

3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ・ 図書委員会の活動で、朝読書、朝の図書室利用が定着でき、図書室利用が活発化された。
- ・ 開架時間を延長し、生徒が本に触れ本に親しむ機会を増やすことができた。

(2) 課題

- ・ 自発的に図書室を利用する生徒数はまだ限られており、より多くの生徒が気軽に訪れ、本に親しめる図書室づくりを続ける必要がある。

(3) おわりに

利用促進のための放送や呼びかけ、新着図書紹介活動の工夫を進めていきたい。そして、今後も生徒一人一人が読書を通じて豊かな心を育むことができるよう、環境整備と委員会活動の充実を図書委員とともに考えていきたい。